

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 瀧井病院 つくし				公表日	R7年 6月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100			R7年1月より事業所の場所を変更しています。スペースも広くなり、送迎もしやすく保護者の方々にも好評です。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100			事業所内はバリアフリー化されております。安心・安全な環境になるよう整備してきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100			日々の清掃・感染対策を実施しております。事業所内は生活・活動スペースとリハビリスペースに分けております。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100			個別スペースについてはカーテンや衝立等で確保しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	83	17		会議・ミーティングには職員の全員参加を促し、頻度や時間を増やして行きたいと思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100			評価の結果を共有し改善に努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100			評価の結果を共有し改善に努めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100		現在は実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100			日向市内外の研修会に積極的に参加していきます。また、法人内の研修会もありますのでそちらの方にも参加、支援に役立てていきます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	50	50		法人のホームページにて公表致します。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100			日々の支援の中で、児童の特性等を把握し、課題の抽出と目標設定を適切に行えるよう努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83	17		担当者会議にて児童の状況の把握に努め、作成していきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83	17		情報共有と統一した支援を提供できるよう努めます。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100			既存の評価表と児童の日々の状況等を報告し合い、把握に努めます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100			担当者会議や朝礼、日々の話し合い等で支援内容を設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100			多方面からの意見を取り入れ立案していきます。	

供 給	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	50	50		児童が好きな活動も実施しながら新しいものに興味が出るような活動も考え、提供できるよう努めます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100			児童の特性、発達状況に合わせた活動を実施していきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100			その日の活動内容等はもちろん、その他前回利用時の様子等も事前に確認していきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50	50		現在、職員内での連絡ノートを作成し、その日の連絡事項、気付いた点などを周知できるようにしている。また次の日の
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100			継続して実施していきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100			継続して実施していきます。
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100			児童発達支援管理者、また必要に応じて看護師、理学療法士、保育士も同行してモニタリングに参加しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100			行政、医療機関、他事業所の連携を図っています。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100			他事業所の連携をとり情報共有に努めています。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100			就学前には、事業所での様子を教育委員会の方や学校の先生方が見学に来られることや、電話連絡等で情報共有に努めています。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100			定期的な情報共有を図っています。相互にアドバイスを受けています。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	17	83		公共施設で関わる機会はあります。今後、地域のこどもたちと関わることができるイベント等を開催できるよう努力していきます。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100			つくしでの様子は、連絡帳や送迎時の報告、また気になる様子は動画や写真等により詳しく伝達ができるよう努めています。
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100		ご家族に向けた研修等があれば情報をお伝えしています。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100			契約時に実施しております。 その他、受給者証等の変更があった場合は説明をしています。
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100			契約時、その他モニタリング等で確認しております。

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100			しっかりと説明し、同意を頂いております。
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100			随時、承っております。
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100			季節行事等で交流の場を設けてます。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100			事実確認をしたうえで、しっかりと対応させていただきます。
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100			月初めの「つくしだより」の配布やインスタグラムでの発信を実施しています。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100			今後も十分に注意していきます。
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100			児童の特性に合わせた方法を用いて意思疎通に努めています。
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100		地域の方々が参加できるようなイベントを計画、実施していきます。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100			病院に併設しているため、病院と併せて実施しています。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100			BCPについては策定しています。今後病院と併せて実施していきます。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100			保護者の方にお薬の情報書の提供をお願いしております。また、医療ケアが必要な児童は、主治医より医療ケア指示書を頂いております。
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100			食事ができる児童は保護者、管理栄養士、医師と相談し、昼食の提供をしています。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100			安全計画を作成し、訓練等を実施していきます。
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	83		ご家族との連携についてはまだまだ不十分な部分もありますので、改善に努めます。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100			事故報告書の作成し情報共有を実施し、対策をしています。
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100			虐待防止委員会の設置、県主催の虐待防止研修に事業所から1名参加をしています。
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100			ご利用契約時に十分な説明を行い、書面にて同意を頂き保管しております。